

2. 新たな社会“Society 5.0”

平成 28 年(2016 年)1 月に閣議決定された「第 5 期科学技術基本計画(平成 28 年(2016 年)～平成 32 年(2021 年))」に記述された、「超スマート社会」と「Society 5.0」という 2 つの概念です。

「超スマート社会」とは、「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細やかに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことの出来る社会であり、人々に豊かさをもたらすことが出来る社会」と定義しています。

「Society5.0」とは、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会であり、科学技術イノベーションにより形成する「新たな社会(Society5.0)」と定義しています。

この社会は、狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く新しい社会です。

日本政府・経団連は、SDGsの目標達成(2030 年)を実現するための戦略の柱と位置付けています。

(注) SDGs

SDGsは、2015 年の国連サミットで全加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 年アジェンダ」の中で掲げられました。17 の目標・169 のターゲットから構成されており、2030 年を達成の年限としています。

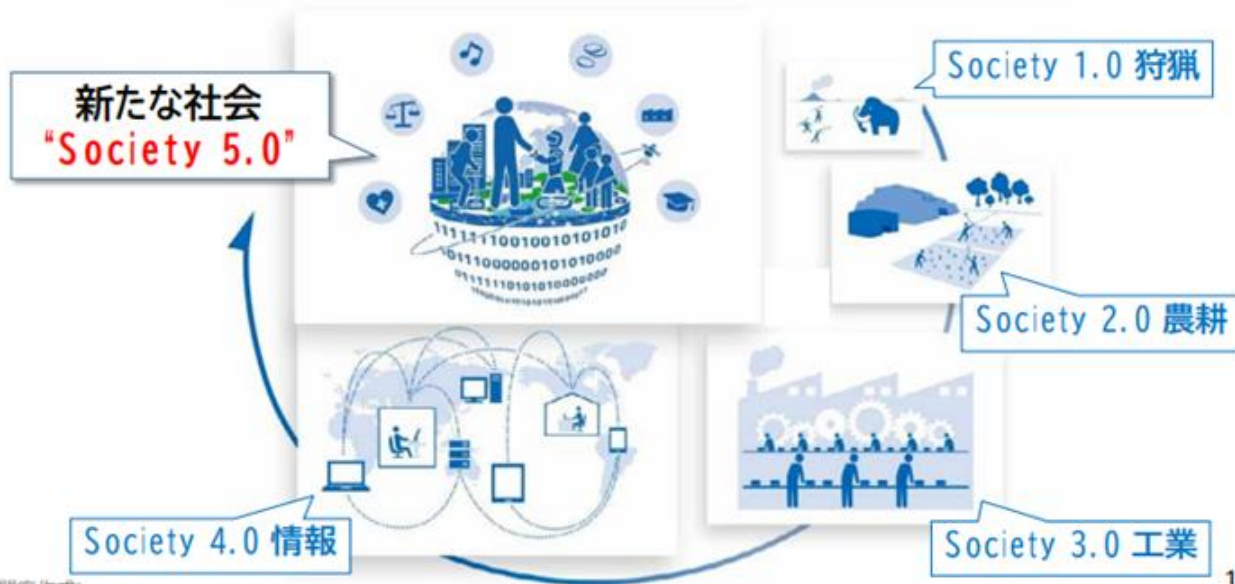
そして、2017 年に開催された「ダボス会議」で「SDGsに取り組むことで、12 兆を超える経済価値と 3 億 8,000 万人に雇用が創出される」と発表されたことで、経済界も「取り組んでいこう」と広まり始めました。

次ページに内閣府が公表した Society 5,0 のシステムイメージを示す

(一部省略)

Society 5.0とは

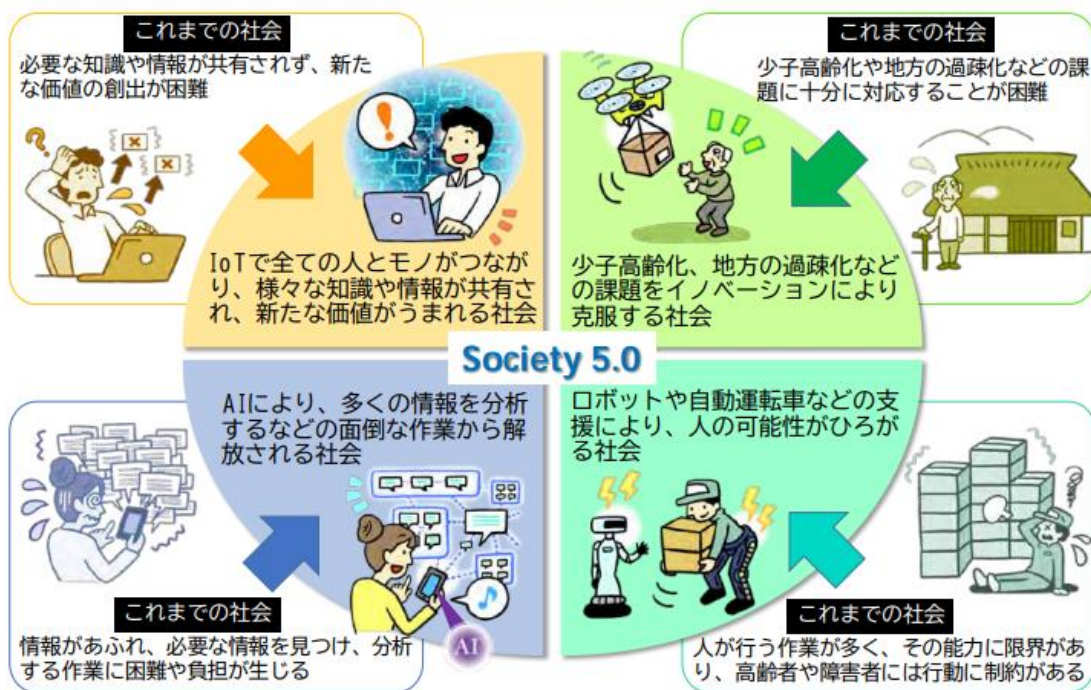
サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、
 経済発展と社会的課題の解決を両立する、
 人間中心の**社会（Society）**



[内閣府作成]

1

Society 5.0で実現する社会



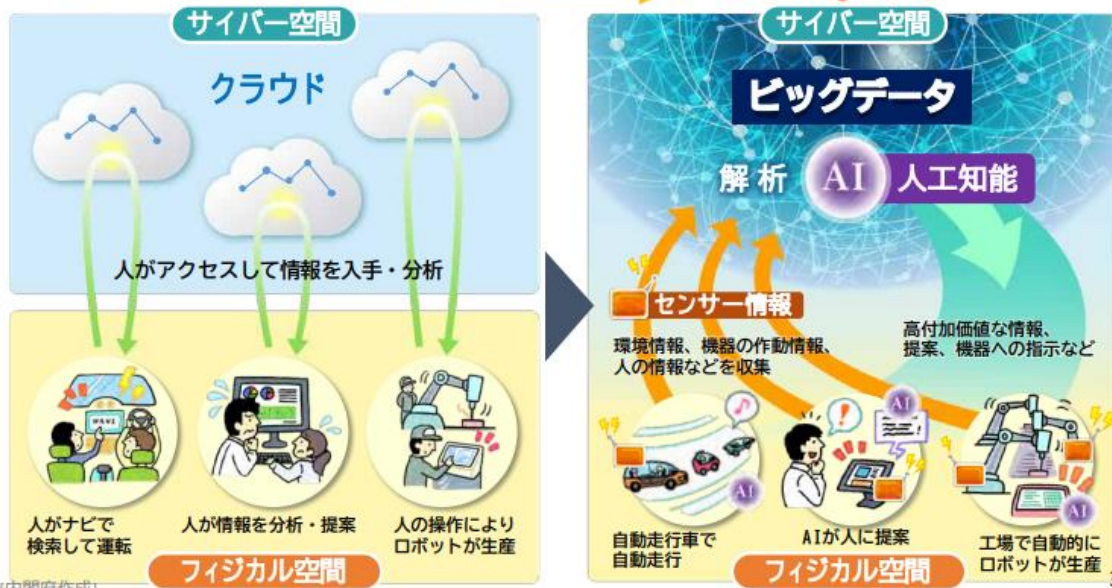
[内閣府作成]

2

サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合

フィジカル（現実）空間から**センサー**と**IoT**を通じてあらゆる情報が集積（**ビッグデータ**）
人工知能（AI）がビッグデータを解析し、高付加価値を**現実空間**に**フィードバック**

これまでの情報社会(4.0) → **Society 5.0**



[内閣府作成]

3

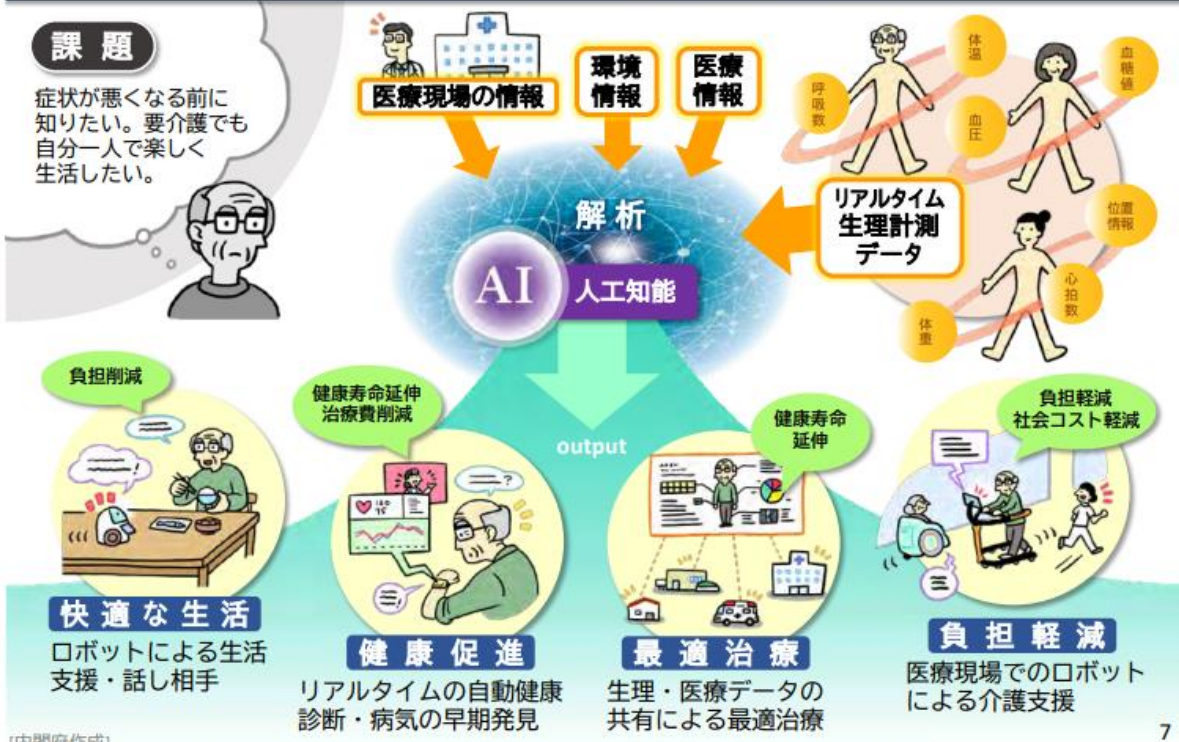
新たな価値の事例（ものづくり）



[内閣府作成]

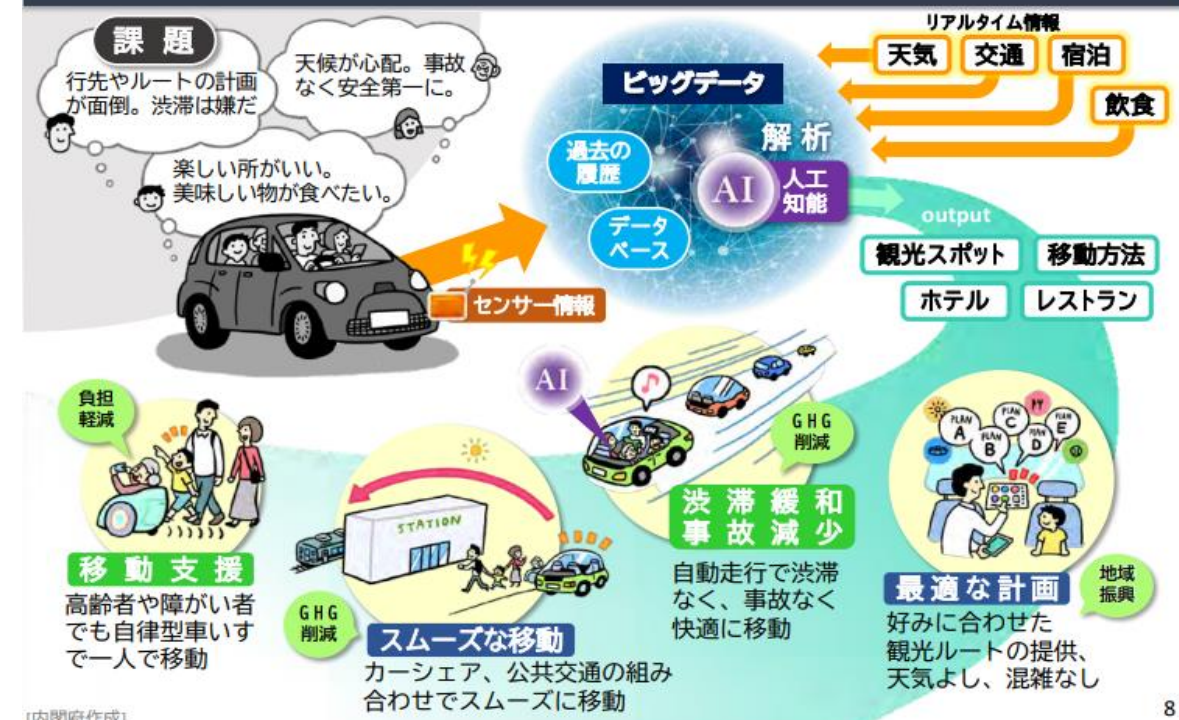
8

新たな価値の事例（医療・介護）

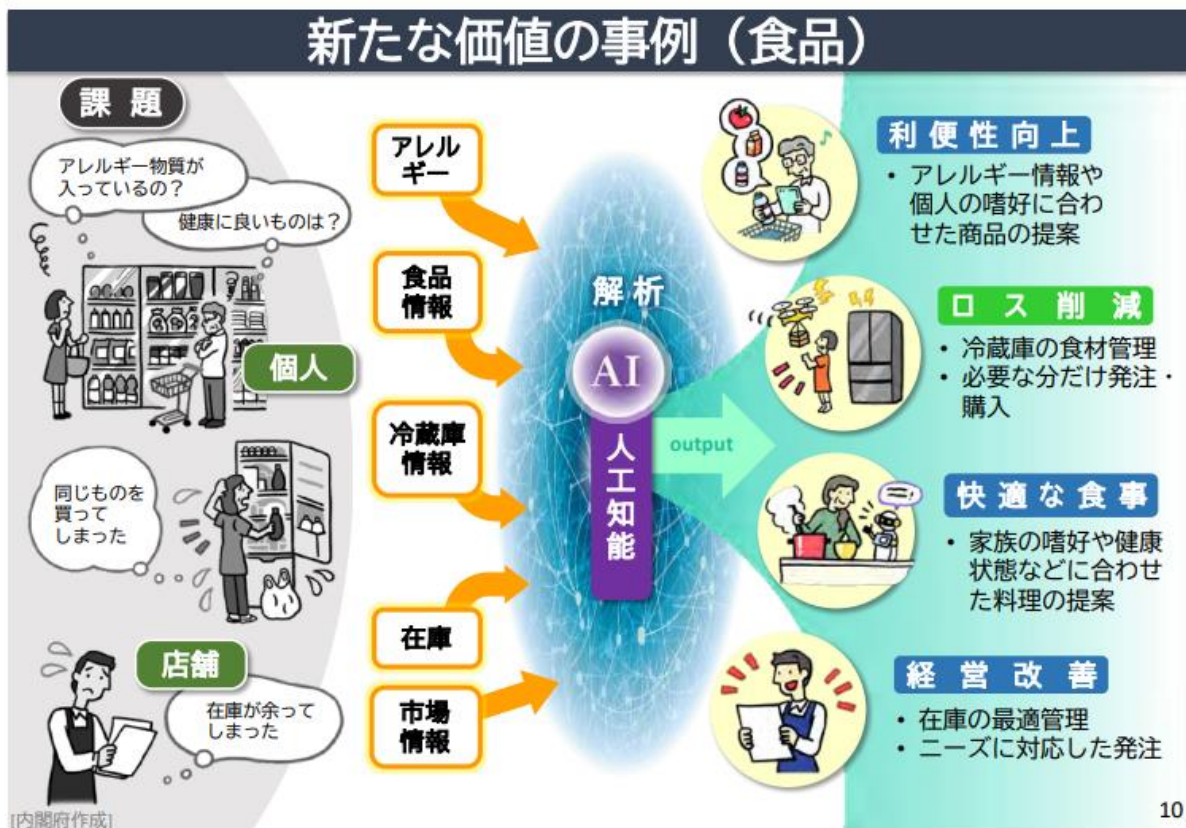


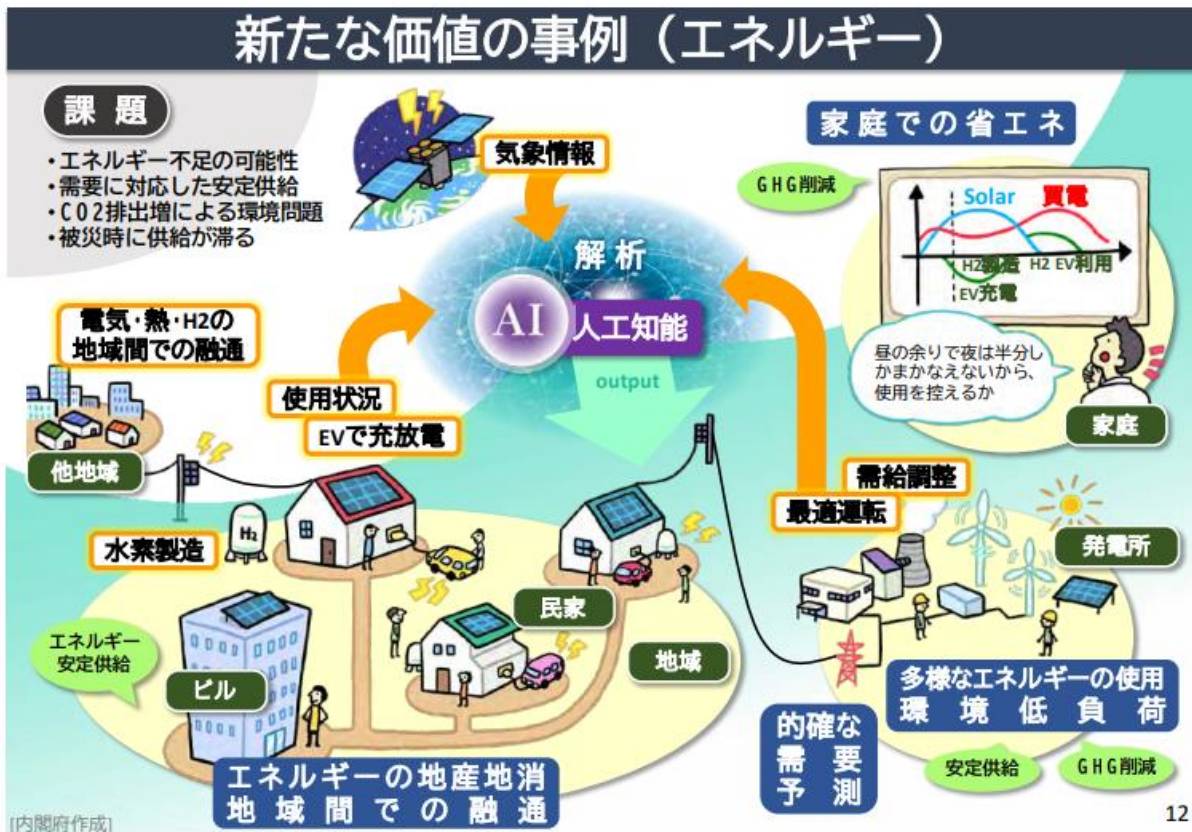
7

新たな価値の事例（交通）



8





出典：内閣府 HP

以 上